

## 資料4（差替分）

### 柏市自立支援協議会全体会 部会報告シート

<b>【部会名】</b> はたらく部会	<b>【担当】</b> ビック・ハート柏 八木原 直彦
<b>【開催報告】</b> 1 はたらく部会 (1) 第3回：1月26日（木）WEBと対面による開催 ○部会長に関して かるのこ 室山氏の異動に伴い、ビック・ハート柏 八木原氏が就任。 ア 雇用率等についての情報提供 ・松戸公共職業安定所より、令和5年度からの法定雇用率の動きと短時間雇用の算定取扱いについて情報提供。 イ 意見交換～権利擁護について～ ・虐待防止法と差別解消法の義務化項目を振り返り、権利擁護について意見交換。事業所からは、虐待防止委員会の設置と研修開催の取組について説明。 ・障害福祉事業所では、パワーハラスメントや合理的配慮などの取扱いについて懸念があり、職員及び利用者ともに正しい理解と周知が必要であるとの話があった。 ・当事者団体からは、変化する福祉の情報が当事者には届きにくいいため、当事者自身が正しい理解で情報を得られる仕組みや意見を伝えられる場が大切であるとの話があった。 ウ 今年度のまとめ ・次年度に向けた取組みについて意見交換し、今後の部会運営に活用していく。  2 一般就労連絡会 (1) 第3回：1月11日（水）WEBによる開催 ○今年度のまとめ ア 企業向け周知 ・11月18日「キックオフミーティング～共に踏み出す障害者雇用の導入から採用まで～」の実施報告。参加企業は5社。チャレンジドオフィスかしの見学と障害者雇用の概要に関する講演、個別相談会を実施。市内の就労支援機関が企業支援を担当し、企業選定は松戸公共職業安定所に協力を依頼することで、市内在住の障害者が身近な場所で就労する機会を増やす取組を実施。 ・第2回は令和5年2月7日（火）開催予定。内容は、障害者雇用の進め方に関する講演と個別相談会が中心。今回の開催から柏商工会議所へ後援を依頼する等、引き続き、経済団体等との連携・協力体制を推進していく。 イ 支援者のスキルアップ ・1月27日「第2回なんでも座談会」を開催予定。前回同様にテーマは決めず、日々の業務や疑問に思っていることを中心に意見交換の予定。	

#### ウ ジョブコーチの周知と活用

- ・今年度のジョブコーチ派遣事業の利用状況について報告。今年度は4名利用。うち1名は離職、3名は利用中。今年度の特徴としては、全員が精神障害者保健福祉手帳を所持。近年、精神障害と発達障害の方の利用が増えている。
- ・来年度に向けた大きな改正点として、ジョブコーチ派遣時の交通費を創設、ジョブコーチによる事前支援と支援計画の作成、企業向けに事業のチラシを作成。

#### ○来年度に向けてのグループワーク

- ・「柏市の就労支援体制の充実」について、柏市で不足している就労支援や地域資源について意見交換。各グループより、「余暇支援の充実（休日の過ごし）」「市内地域資源の情報共有の方法（サイト等）」「就Bから就労移行へのスムーズな移行の仕組み」「実習先の開拓」「定着支援終了後に中心となる支援機関」「コミュニティに関すること」「なんでも座談会の感想」「求人情報の共有システム」「各事業所の特色が分かる資料」について意見があった。

### 3 福祉的就労連絡会

#### (1) 第3回：1月11日（水）WEBによる開催

##### ○今年度のまとめ

##### ア 農福連携の取組みについて

- ・11月7日「千葉県農福連携現場見学会（柏市）」の実施報告。参加者40名。前半はハウス内の清掃作業、後半は意見交換会を実施。1月14日&15日のノウクフェスタ in 上野の開催告知。
- ・農福に関心のある事業所があれば、次年度以降JAちば東葛が各事業所へ訪問し、個別に相談を受けることができるとの話があった。

##### イ 合同販売会の企画について

- ・道の駅しょうなん（10月7日）、セブンパークアリオ柏（12月9日）の販売会総括とアンケート結果、豊四季台活動館の販売会について報告。

##### ウ 柏市版事業所ハンドブックの作成（情報発信）について

- ・基本情報シート作成の進捗報告。シートのデザイン、内容に関して委員より意見があった。主に追加する内容としては交通手段や送迎の有無など。事業所の特集ページに関しては記載する情報を整理する。

##### ○来年度に向けて意見交換

- ・「今後の販売会の在り方」「事業所からの情報発信」について、意見交換を実施。情報発信として、HP開設やチラシ配布、挨拶まわりを行う事業所や、SNSの活用やオンラインショップを開設した事業所もあった。販売会については、集客が見込める土日祝の開催は参加が難しいとの声もあり、各事業所の事情によって大きく差がある。
- ・障害者就労事業振興センターより、工賃向上には継続的に取り組んでいる作業の単価見直しが必要との話をいただいた。また、他市ではシルバー人材センターで

受注不可の仕事が増加し、障害分野への仕事依頼は増加傾向との話があった。

### 【全体会に課題提起すべき内容】

#### (1) 背景

- ・はたらく部会では各連絡会の取組みから課題を集約検討し、具体的な取組については2つの連絡会を中心に動いている。
- ・一般就労連絡会では【職場定着支援】をテーマとし、①企業向け周知、②支援者のスキルアップ、③ジョブコーチの周知と活用について取り組んだ。
- ・福祉的就労連絡会では【工賃向上と社会参加】をテーマとし、①農福連携の取組み、②合同販売会の企画・実施、③柏市版事業所ハンドブックの作成（情報発信）について取り組んだ。

#### (2) 部会としての課題認識

はたらく部会では当事者の方々が安心して働き続けられる環境を目指し、就労支援体制の充実と工賃向上に向けた取組みを推進していく。また、福祉分野だけでなく社会との繋がりを意識した取組みについても検討していきたい。

### 【今後の活動予定】

#### 1 一般就労連絡会

- (1) 第2回なんでも座談会：令和5年1月27日（金）
- (2) 第2回キックオフミーティング（障害者雇用に関する企業向け相談会）：  
令和5年2月7日（火）

<p>【部会名】 こども部会</p>	<p>【担当】 社会福祉法人 桐友学園 新福 麻由美</p>
<p>【開催報告】</p> <p>1 こども部会</p> <p>(1) 第3回：1月23日（月）対面とZoom併用による開催</p> <p>ア 第2回事業担当者会議（11月30日開催）報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別サポート加算の調査票について、事業所では複数事業所を利用している利用者の調査における困り感が生じている。事業所とも協議しながら検討していく必要がある。</li> <li>・セルフプラン利用者の増加に伴い、事業所が保護者からの相談対応に難しさを抱えている。市からも、セルフプラン利用者へ各拠点や基幹相談支援センター等の相談先をアナウンスして欲しい。集団指導の中でも、各事業所への周知を図り、委託相談へと繋げていく体制作りを希望。</li> </ul> <p>イ 保育所等訪問支援の年齢制限について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等訪問支援事業所分科会にて、国の動向を鑑みながら、園用、事業所用のガイドライン作成を進めている。</li> <li>・児童、保護者、学校それぞれ良い関係になるよう、事業所には中立性・公平性を担保して介入をしてもらいたい。</li> <li>・普通級に入学後、次第に集団生活への参加や学習面での困難さが顕著になっていく事例がある。小学校への引き継ぎのためにも活用されていくと良い。</li> <li>・保育所等訪問支援を実施する事業所としての支援の入り方、質の問題を懸念。質の強化も必要である。</li> <li>・保育所等訪問支援は、インクルージョン推進に向けての取り組みが重要となる。学齢期への移行であれば、学校への引き継ぎの仕方も重要。現在作成しているガイドラインにも反映させていけると良いのではないか。</li> </ul> <p>ウ 来年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待について、虐待と判断される具体的な基準や事例について知りたい。</li> <li>・障害児を抱える家族における、就労率の上昇に伴う課題についての検討。</li> <li>・相談支援事業所の減少、相談支援専門員の不足に伴う、セルフプラン利用者の増加。課題点を具体化していくとともに、地域課題として捉え、体制整備についても検討が必要。</li> <li>・成人期への移行に向け、成年後見制度について知見を深める必要がある。</li> </ul> <p>2 事業担当者会議</p> <p>(1) 第2回：11月30日（水）Zoomによる開催</p> <p>ア 虐待防止委員会設置状況アンケート調査結果報告。</p> <p>イ 事業所運営での課題・困り感について意見交換を行った。主な意見は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポート調査票の配布方法と記入について、事業所として課題を感じている。</li> </ul>	

- ・計画相談がついておらず、セルフプラン対応の方への相談対応の困難さがある。
- ・セルフプラン対応の方へ、委託相談等の地域の相談先の周知が必要ではないか。
- ・送迎車からの降ろし忘れ防止への対応策について、事業所間で意見を共有。

#### 【全体会に課題提起すべき内容】

##### (1) 背景

- ・各事業所からの困り感として、虐待について、セルフプラン利用者の相談先について等があげられた。
- ・保育所等訪問支援について、学齢期の年齢制限に対する利用者側の要望や学校側の懸念、介入する事業所に求められる質の強化等の課題がある。国の動向を踏まえながら継続して協議が必要。
- ・成人期への移行に向けて、成年後見人制度についての知見を深める必要がある。

##### (2) 部会としての課題認識

こども部会としては、継続課題として以下の議題を検討していく。

- ・虐待の基準に関する様々な観点からの意見や事例についての共有と検討。
- ・セルフプラン利用者の増加に伴う課題についての検討。
- ・サポートファイルの普及と活用。
- ・保育所等訪問支援についての検討。  
(年齢制限及びインクルージョンの推進に向けて)
- ・成人期への移行に向けて、成年後見制度についての研修・周知

#### 【今後の活動予定】

##### 1 児童発達支援連絡会

第2回：2月13日～2月19日 ※動画配信にて開催。

テーマ「就学相談の流れ及び特別支援教育について」

その他部会、連絡会等の今年度の活動は終了。